

議会公質問

2011年12月9日

12月議会一般質問より抜粋

お早ございます。 12月9日10時、
ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。

3月11日の東日本大震災から9カ月が過ぎようとしていますが、未だに多くの被災者の方々に展望が開けない現実に対し、政治の無力さを情けなく思います。ましてや福島第一原発事故による放射性物質拡散の恐怖は一向に収まりそうもなく、日二と被爆者が増え続けていることに、大きな怒りを感じます。

安全神話を捏造し、やらせミートリングまで仕組んで原発を推進してきた国、県と電力会社に対し、全原発の廃炉と正確な放射性物質汚染状況の公開、更には早急なその対策を求めるものです。
一日も早い震災の復興と、福島原発からの放射性物質の拡散が止まることを祈りながら質問に入ります。



◆野志市政二年の市民の評価は？

◆松山市発注工事裏金疑惑について

◆津田中学校プールにおける、水道水流失事故について

か!!しかもその元市職員と当時の公営企業局現職課長が、裏金が作られたとされる大可賀ポンプ場工事の元請け会社である(株)クボタに対し、市発注工事の入札業者決定権の権力をちらつかせた上で、会食と接待を要求し、定例化させていた事実も、明らかになっています。野志市長、知ってましたか??

元請け業者から見たら、発注権限のある公営企業局現職課長ですよ!松山市職員倫理規程違反が堂々とまかり通っていた事になります!事件発覚から既に9ヶ月、何故、聞きとり調査しないのですか?誰に遠慮をしているのですか?稲葉副市長ですか?公営企業局管理者ですか?それとも、事件当時の市長ですか?少なくとも中村前市長は調査説明をするように言われていますよ!松山市職員倫理規程違反事件の調査をいつまでに行つたか、期限を切つてお答え下さい。又、数回にわたりになされた会食では、現職課長からある選挙の応援依頼がなされていますが、現職課長は元請け業者のクボタに対し、何の選挙で、誰の応援を頼んだのか?お答え下さい。更に、(株)クボタの報告書には、「元市職員が裏金造りをするための原資として、クボタの販売手数料を考え、その遺流をさせるために、自己の意のままに動く下請け業者を使うべき旨を陳情した事実が推認され得る」とあります。つまり今回の松山市発注工

下水道部長答弁

今回の問題に元市職員が関与したという報道がある以上、市としても可能な限り事実関係の把握に努める責務があると考えておりますので、不正に対しては厳しく臨むという気概を持って、適切に対応すると共に、説明責任を果たしてまいりたいと考えております。

津田中学校プールにおける、水道水流失事故について

次に津田中学校プールにおける水道水流失事故について、教育長におたずねします。教

野志市政二年の市民の評価は？

さて野志さんが市長になられて二年が経ちますが、本市民にとって市政全般にわたる評価として、笑顔あふれる年だったと思われている人が何人おられるでしょうか。アリアバイ的には野志市長周辺の方々は作り笑顔だったかもしれませんが、厳しい生活をしなから、しっかりと税金を払い、家族の為に生懸命生活している多くの市民にとっては笑顔どころか怒りと失望、更には不信とあきらめ感を植えつけられた野志市政一年だったような気がします。

市長はこの一年間、市民の前で何回頭を下げて謝罪会見をされたでしょうか。野志市長、すべての事件を覚えていますか。あまりに多すぎて覚えておられないかも知れませんが、ここで改めて謝罪をした事件名をすべて明らかにしてください。

松山市発注工事の裏金疑惑をはじめ、市職員倫理規程違反事件、幹部職員の記者会見盗聴事件、松山市発注工事の入札情報漏えいに絡む地方公務員法の守秘義務違反と加重取賄容疑事件、その他にも酒気帯び事故の道交法違反事件、二万トンに上る中学校水道水流失事件、更には、事務組合セクハラ事件、教員による女性下着窃盗事件、教職員の生徒に対するわいせつ事件、挙げ句の果てが消防署員による女性に対する強姦致傷事件です。この二年は、本市職員、不名誉事件のオンパレードです。

市民全体の奉仕者であるべき市職員等が、このような事件を連続して起こすのは、何故原因と考えておられるか明らかにしてください。

市長は本年9月10日、松山市発注工事をめぐる市職員の守秘義務違反逮捕事件における記者会見で「今までやってきた事は正しいと思う。3,400人の職員の中には不心得

者もあり、個人のモラルの問題だと思う」と発言していますが、今でもそう思っておられるのか?お答え下さい。

本場に「個人の道徳の問題」なのでしょいか。市長が市職員の不祥事について、「職員個人のモラルの問題」とした事は、事件の責任を職員個人に押しつけた、自らの責任を回避しようとする行為で、本市のリーダーとしての資質を疑わざるを得ない発言でもあり絶対に許されません。先ずは組織の長として事件が防げなかった自らの責任に言及した上で、市民に対し謝罪をすべきだったのではないのでしょうか。市長はこの責任逃れの発言を撤回するおつもりはないか、お答え下さい。市長、いいですが、個人のモラルの問題と云う捉え方では再発防止は絶対に出て来ませんよ!何故なら、職員個人一人ひとりは、毎日、常に様々なプレッシャーの中で仕事をしており、喜怒哀楽を繰り返す中で、ふと自分の弱さを露呈する事が必ずあります。自分の内外に存在する悪は、時としてそこに付け込んでくる事があるものです。不祥事を最小限に抑えるためには、職場のシステムとして、物理的に犯罪を抑制する機能と、精神的フォロー機能と言われる、上司や同僚との人間関係を良好に維持する職員同士のコミュニケーションが充分に出てくるかどうかで、不祥事が未然に防げる職場であるかそうでないかが分かれるのではないのでしょうか。

今回の事件で明るみに出ているのは、重要書類の鍵管理や、パソコンのパスワード管理、履歴管理等が幼稚なまま放置されていた事によつて、犯罪のブレーキ機能が緩んでいた事は否めなく、組織の責任を免れる事はできません。また容疑者が「金を渡せば情報をくれる」という風評があったにもかかわらず、上司や同僚が容疑者の不審な行動に全く気付いていなかった事実からも、精神面のフォロー機能が働いていなかった事が見てとれます。

モラルの無い人を職員に採用した責任、採用した職員のモラルを向上させる事が出来なかつた責任、更には職員が事件を起こした事の市民に対する責任が、組織にあることは間違いありません。勿論、罪を犯した個人に

7月の約2倍にあたる3,611トンの水使用量異常値を示していました。7月13日の時点で既に流失量1,800トン、損失額703,000円を出していたにもかかわらず、学習施設課が中学校に点検指示を出したのは8月25日であり、検針業者からの連絡が8月10日前後としても2週間放置していた事になります。更に9月の9日に、津田中から報告があるまでの間、またさらに2週間、催促もせず、報告も聞かず放置した事になります。その結果として9月検針分で9,900トンの大量流失となったのではないのでしょうか。

つまり今回の津田中水道水流失事故は、6月15日から9月7日の間に起きたもので流失量は11,700トン、損失額5,735,000円に改めた上、教育委員会自身が責任を取り、二度と起こさないように指導するべきだと思いますが、ご答弁をください。10月20日に教育委員会事務局局長が、「津田中の管理体制に不備や、教職員の対応の遅れが損害を拡大させた」として、過失割合等に応じ関係者に損害賠償させる可能性を示唆し、責任を中学校に押し付けていますが、私は、危機感の無さと、報告連絡の体制が出来ていなかったのは、津田中だけでなく、教育委員会全体も同じレベルに見えますが、教育長の見解を求めます! 以上です。



教育長答弁

今回の事故は、学校において、規則に沿った適正な管理がなされていなかったことによるものでございます。とはいいますが、その、市教育委員会においても一定の責任はあると考えており、昨年7月の津田中学校の水道水漏水については今回のような人的過失は確認できず、不具合のあった校舎用受水槽タンクの定水位弁からの漏水が原因であろうとの結論に至つたため、学習施設課の掌握事務としてその責任のもと処理致しました。長期にわたる流出となつた原因は、学校の不十分な対応にあったものと考えております。

松山市議会は
一問一答方式を
採用せよ!!

梶原ときよし



全国の地方議会では議会改革の嵐が起きています。

中には名ばかりのアリバイ的議会もあるようにも聞きますが、少なくとも議会質問において一問一答方式が採用されてからは、これまでの一括質問・一括答弁方式に比べ、議論の中身が分かり易くなったと言われています。

しかし、残念ながら松山市議会においては議会改革どころか、一問一答方式すら採用されておらず、緊張感の無いセレモニー議会が続いています。ただ唯一あるのが市長(執行部)答弁に対する再質問・再々質問ですが、ほとんどが同じ内容の答弁を繰り返して逃げるといふ情けないものになっています。しかも与党議員が再質問した事は一度もなく、市政のチェックどころか馴れ合い発言に終始しているのが議会の現状です。

一問一答方式を採用し、答弁する側にも反問権を与える事により、質問のしつ放しや、答弁しつ放しで終わる事の無い、緊張感のある質問戦が繰り広げられる事は間違いありません。

また不勉強な議員は議場に立つ事も出来なくなるくらいのプレッシャーが生まれてくることも予想され、議員の質的向上も期待されます。

一方、市長(執行部)側も今までの何倍もの学習能力が要求されますので、危機感のない部長は淘汰される事になるでしょう。つまり、一問一答方式の採用が議員や執行部の質を高め、議会を改革するきっかけになる事は間違いなく、この事により、初めて地方自治の二元代表制が機能し始めるのではないのでしょうか。